

福島駐パナマ大使と当協会会長の面談

7月26日（火）、福島秀夫駐パナマ日本国特命全権大使が当協会を訪問され、池田会長、友田副会長、森重理事長と面談を行いました。

面談では、冒頭池田会長よりパナマ運河庁と当協会との対話に際し同館からの対話円滑化支援への感謝の意を表明しました。

福島大使からはパナマ運河・パナマ籍船の有数の利用者である我が国海運のパナマにおけるプレゼンスの高さを改めて示され日本大使館として我が国の暮らしと経済を支える日本商船隊の円滑な運航の継続的支援を惜しみなく進める旨、またパナマ運河水源確保プロジェクトや同国の環境海運政策の動向を注視しわが国からの協力姿勢を示していくとの説明がなされました。更に、同大使が名誉校長を務める在パナマ日本人学校への資料（海事諸団体作成）セット提供および、友田副会長の同校での講話について、世界の海上輸送ルートの大動脈であるパナマで暮らす次世代が海運の重要性への理解を深める契機となったとして謝意が述べられました。

加えて当協会は、今後も在パナマ日本国大使館をはじめとした関係当局と協力し、円滑な国際物流の確保を図ることとしており、その一環として、パナマ政府関係者との対話を深める目的で今年度中に池田会長を団長とするパナマ訪問団を派遣予定である旨を表明しました。これを受けて、福島大使から来訪歓迎の意が示されました。



（左より）友田副会長、福島駐パナマ大使、池田会長、森重理事長

※池田会長・福島大使が掲げている絵本“うみのパイロットさん ～カナルじまからのおてがみ～”（日本水先人会連合会・（一財）海技振興センター刊）はパナマ運河を紹介しており、発刊元から在パナマ日本人学校および今治市（パナマ市の姉妹都市）の全小学校へも寄贈された。姉妹都市 45 周年を迎えた両市の記念としても一役買っている。